

令和五年度 第二学期終業式 校長式辞

八月二十八日に始まりました、足かけ五ヶ月にも及ぶ長い二学期終業の日を迎えました。「酷暑」「炎暑」「観測史上最も暑い」「記録的な暑さ」など耳に慣れてしまうほど、大変暑い夏でした。国連のアントニオ・グテーレス事務総長は、「地球は沸騰化の時代」に入っていると述べたほどです。この過剰な暑さは、世界の科学者間では、主に化石燃料の使用と関連しているという意見で一致しているそうです。

幸い、この地域では台風や大雨の災害にあうことなく、また、一学期のようなインフルエンザによる休業もなく、この二学期終業式を迎えられましたことを、まずは大変ありがたいと思っております。

さて、この二学期には三年生の多くが進路を決定しました。

地元漁業・漁協関係に計八人、その他の水産・海洋関連産業とあわせると、十数名が地元で活躍することが期待されています。ほぼすべての就職先は、水産・海洋関連の、本校の学びの延長にある企業です。その他、公務員、国公立大学、さまざまな分野の大学、短大、専門学校に進路を勝ち取りました。これから受検する人もいますので、応援しているところです。

昨年度（令和四年度）卒業生の、水産・海洋系四年制大学進学者数は、全国の水産・海洋系高校四十六校中でトップでしたが、現三年生も大変多い状態です。スポーツ推薦を始め、水産・海洋系以外の分野も含め、多様な希望進路の実現ができ、大変うれしく思います。一・二年生の皆さんも、追隨してほしいと願っています。

また二年生は、各専門学習での本格的な実習、探究活動も始まりました。一年生は、二年生以降の学科・コースを決定しました。

部活動でも、このあとの伝達表彰にもありますが、鹿児島県で行われた国体にはウエイトリフティング、レスリング、ボート、ヨットの四種目が出場、優勝や入賞した人も多数ありました。ウエイトリフティング部からは、十一月の世界ジュニア選手権で、準優勝が二人などなど、輝かしい成果があった二学期でした。皆さんの頑張りに敬意と、改めてのエールを贈ります。

本日は一点。植木 カさんという方について紹介します。

植木さんは、防災グッズやオフィスで使用する家具や消耗品を販売される会社の社長さんです。先日、この方の講演を聴く機会がありました。

出版されている本に記載されている自己紹介の範囲での紹介になりますが、この方は、宮津市由良のお生まれ、お隣の栗田中学校から峰山高校に進まれた方です。自分で会社を経営され、「奇跡を呼び込む力」という本を出版されています。

実は、三年生が一年生の時に受講した地域魅力理解講演会の取組の際、同じ目的の取組をされた企業として、海洋高校のことを、とても気に掛けてくださっています。

皆さんがイメージする会社・企業と言えば、普通は利益を追求する企業経営が一般的ですが、この方の会社は、そうではないのです。

可能な限りの社会貢献をされてきました。本の表紙にあるとおり、営利活動よりも、社会貢献活動に力を入れられています。生育歴から、困った人を助けることに抵抗感はないと、本の中で仰っています。災害が起これば防災用品を寄附、あるいはカンボジアに文房具を送るとか、そういったことにつき込んでおられます。

そんな会社経営で、一時は、二年間で六千万円もの赤字で、従業員の給料を払った後は、会社に十万円しか残らないという、厳しい経験をされています。

会社経営の傍ら、東日本大震災や熊本地震の際には、わざわざ被災地に赴き、避難されている方を訪ね、何に困っているか、聞き取りをして回られたそうでもあります。

被災地で困っている人のニーズをつかみ取り、被災地で役立つ防災用品の商品開発をされヒット商品を生み出されたこともあります。そうこうしているうちに、「社会貢献されている企業の応援をしたい。」という理由で、本業の文房具等の注文が多くなったことから、利益が確保でき、現在に至っておられます。

つまり、社会貢献を会社の方針にして、会社を成り立たせておられる。ということですが。その植木さんが言われたことを抜粋して、二点、皆さんに贈ります。

一点目は、今の自分（植木さん）は、高校時代に出会った本に支えられている。即ち「若いうちに本を読んでください。」というメッセージです。ネット注文の場合、検索して目的とする本を探すという方法で、効率がよいのかもしれませんが。しかし、図書館や本屋さんに行くと、見かけたものに触れられる、検索していたものとは違う本にも巡り会うチャンスが生まれ、自分の考え方をきっかけにできる可能性が生まれると言われています。

二点目は、「人と人とのつながりを大切にしてください。」というものです。信頼できる友達、近所の方、親戚、さまざまな方とコミュニケーションを取り、よい関係を築いてください。というものです。「社会性」とも言い換えられると思います。厚生労働省のデータからすると、せっかく希望する仕事に就けても、残念ながら人間関係が原因で仕事を辞める人も多いということでもあります。

結びに、明日から冬休みです。どんな小さなことでもよいので、読書や資格試験の予習、苦手科目の学習、趣味でも結構です。何らか自分にとって有益な目標や計画を立て、この冬休みを有意義に過ごしてもらえればと思います。

来年一月九日、全員が元気で、この場に来ってくれることを楽しみにしています。それでは、皆さん、よい年を迎えてください。以上です。

令和五年十二月二十二日

校長 上林 秋男